

産業観光 まちの魅力

女子サッカーによる町おこしを

〈町長・教育部長〉 産業振興と青少年健全育成の面から応援していきたい。

民間による町おこしとして準備会が発足し、幼児サッカー教室や女子小・中学生対象の大会など開催されている。熊野中学校に県内初の女子サッカー部が誕生し、町長は「女子サッカーとの縁は大切にしたい。トップ選手の招待行事は続ける」と明言されている。女子サッカーで地域活性化を図る考えはあるのか。



▲ なでしこジャパンの近賀選手

行政的な支援は難しいが個々の活動は検討が必要と考えている。

その後の筆産業の振興策は

〈町長〉 ご提案の書道体験等については、事務レベルで協議・検討する。

前回の町長の答弁から、町長自身も組合の独自性や筆屋さんへの配慮、そして行政の立場が交錯しているのではないかと。私も成果に繋がる事業を実施したいと考えている。昨年の地方創生元年が予算面でのチャンスであった。筆組合と協議を重ねた結果、今年度の施策としては、海外での商標登録の取得と筆の工房での筆商品の4割引制度の2本の政策で取り組んでいく。また、2020年のオリンピックに関連した伝統工芸品の実演販売について取り組んでいく。



これまでの取り組みは、地域に限られた傾向があり、外向けに情報発信をすべきではないかと。例えば、筆組合が外向けに情報発信をする際に、人が足りなければ、町の事業として一緒にやろうという考え方はないか。

生活環境

上水道事業の現状と水道料金の展望は

〈町長・水道部長〉 厳しいながら健全な経営であり、料金を含め、今後も安定供給を行う。

本町における上水道事業は、近年人口減少や節水機器の普及に伴い、水需要は減少し始めている。一方で、水道管や配水施設などの老朽化は進み、今後の事業展開においてますます厳しい環境となってきた。そこで、現在の水道事業の現状と、水道料金に影響があるのかどうかを含めて、今後の展望と施策を問う。



この時に、受水費の単価値下げについて要望を行ったが、これからの老朽化等の維持管理費を考えると、値下げは難しいという回答であった。

安心安全

町内の防犯施策や交番の位置は

〈町長・民生部長〉 交番の建てかえの際は、防犯・防災の観点から適地選定されるよう要請する。

町内の防犯を取り巻く環境をいかに認識し、どのような具体的施策を展開しているか。また、今後の方向性は。

町内の人口分布は。西部地域32%、中央地域58%、東部地域10%である。



時光 良造議員



▲ 熊野交番

海田警察署と連携を図り、青色回転灯車両での巡回や熊野町防犯組合による早朝キャンペーンによる啓発、特殊詐欺に対する高齢者を中心とした講座などを展開しており、これらの取り組みを継続して実施する。

交番建物の改築の際は、現在の人口構成、阿戸町も含まれる熊野交番の管轄区域、防災面での警察と行政の連携等を踏まえるとともに、住民の理解を求めながら建て替え先が選定されるよう関係機関に働きかけたい。